

2020 年度 「休眠預金等活用法」に基づく実行団体公募  
 子どもの居場所づくり応援事業 第一回採択事業

事業名	やまなし子どもの居場所づくり応援事業 ～活動助成による「食」のインフラ支援	
団体名	特定非営利活動法人山梨県ボランティア協会	
所在地	山梨県	
事業の概要	<p>現在のコロナ禍において、こども食堂の活動は中止せざるを余儀なくされている。こども食堂の運営を行っているNPOや任意団体は、「活動の歩みを止めてはならない」と、創意工夫をし、ドライブスルー方式によるフードパントリーや 100 円弁当の提供等の活動を県下各地で展開しているところである。子どもたちの生活を支える「食」の確保が最優先課題とされるなかにおいて、食材・食品等を保管できる環境を整え、子どもたちに多様な食に触れてもらう食支援活動を継続的に実施できる仕組みづくりの必要性を実感し、「やまなし地域こども食堂グループにじいろのわ」と協働し、山梨における子どもの居場所づくりを整備していく。</p>	
事業期間	1 年	
助成額	助成金	4,500,000
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども食堂ネットワーク団体との信頼関係があり、行政との連携が期待できる点で評価できる。</li> <li>・運搬用車両が確保されており、構想がしっかりしていると感じた。</li> <li>・山梨県内に広げるにあたり、ロジ拠点の運営体制やハブ拠点を増やすための戦略について、事業終了後も継続する仕組みになるよう検討する余地あり。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	かわさきを食でつなげる居場所支援事業	
団体名	認定 NPO 法人フリースペースたまりば	
所在地	神奈川県	
事業の概要	<p>新型コロナウイルス感染症の流行により、緊急事態宣言を受け、市内のこども食堂は一時的に活動を休止していたが、宣言が解除されても、再開のめどが立たずに困っているこども食堂がある。</p> <p>この事業は地域のこども食堂が開催しにくくなり、子どもたち食の機会が減少し、十分な栄養が摂取できない状況を改善するために行うとともに地域課題を整理し食のセーフティーネットを整備することを副目的とする。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	4,500,000
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者をはじめとした地域住民や活動団体からの信頼が厚く、プレーパークの運営を含め子ども達を支援してきた実績がある。</li> <li>・子どもの置かれている環境に対し食支援を通じてアウトリーチする手法を蓄積し、そのノウハウを他地域に伝播できるところが期待される。</li> <li>・かわさきこども食堂ネットワークと連携しながら事業を実施する点で評価できる。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	沖縄らしい持続可能な食支援事業	
団体名	NPO 法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄	
所在地	沖縄県	
事業の概要	<p>県内には約 200 箇所の子どもの居場所が設置されているが、新型コロナウイルスの感染拡大期には約 6 割が活動休止等の措置をとったため、子どもが安心して過ごし、食事支援や学習支援等を受けることが稼働できない状況となった。生活や生命を支える「食の支援」は最も重要なことであり、様々な事情で居場所へ集う子どもたちへの食品の確保と速やかな提供は、沖縄において急務の課題である。</p> <p>本事業では子どもの居場所の中間支援団体としての役割を担う当団体が、設備を充実させることで安心安全を確保しながら保管と配送を行うとともに、食品の取扱い量を増やすことで食品を必要とされる子どもの居場所へ届ける仕組みを構築していく。</p>	
事業期間	1 年	
助成額	助成金	4,300,000
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他フードバンク団体との連携や、子ども支援団体への物資提供の実績がある。沖縄の南北を繋ぐ協議中の物流システム構想があるなど、実効性が高いと感じた。</li> <li>・対象地域の貧困率が高く、地域的な緊急の必要性からも整備が望まれる。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	フードバンク愛知 愛知・三重・岐阜ネットワーク協同デポ	
団体名	特定非営利活動法人フードバンク愛知	
所在地	愛知県	
事業の概要	<p>フードバンク愛知、愛知、三重、岐阜子ども食堂ネットワーク協同デポの実現、スーパーマーケットに支援いただき、今まで取扱い不可能だった冷凍食品を含む他食品を各子ども食堂をデポ化して配布。食品は、各子ども食堂が集荷、管理する。フードバンク愛知が、それらを請負い、冷凍・冷蔵庫を貸与、こども食堂ネットワークを通す連携をとることで、子ども食堂デポ化が実現する可能となる事業。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	4,300,000
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに東海三県で活動を開始しており、スキームが確立されつつある点で期待できる。</li> <li>・冷凍冷蔵庫設置団体との連携が既にあり、着実な実施が可能である。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	「共食」からつながる子ども居場所創り事業	
団体名	特定非営利活動法人 NPO ホットライン信州	
所在地	長野県	
事業の概要	<p>年間3万人と言われる自殺が日本の社会問題となり、長野県は教育県でありながら自殺率は高く、特に、未成年の自殺率が全国ワーストと言われ、更に多発する災害や新型コロナ禍の影響が、子どもや生活弱者にしわ寄せが及んでいます。</p> <p>子どもたちの支援の場である「こども食堂」も、コロナ禍『3密』回避をした場作りが急務です。その為に、フードパントリーを活かした、「共食」からつながる「子ども居場所創り」を展開します。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	4,500,000
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな団体との連携や実績があり、実効性が高いと感じた。</li> <li>・県内5地域と連携してロジシステムを構築することで、県内のこども食堂にリーチすることができるようになる。</li> <li>・対象地域の自殺率の高さや豪雨災害被害といった課題から、地域性からも整備が望まれると感じた。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております